

# 「ふれあいの里山」復活大作



日時	2021年 7月 3日(土) 10時 00分～ 12時 20分		
場所	金ヶ崎公園	天候	晴れ時々曇り
参加者	エコウイング会員 4名、事務局 1名、計 5名		

## ● 午前

新型コロナの緊急事態宣言発令などにより、金ヶ崎公園の活動は4月に実施して以来中止となっていたため、今日は3か月ぶりの活動になりました。梅雨の中休みで晴れ間が広がり、蒸し暑い天候の中で、朝10時に5名の活動メンバーが集まりました。

公園の会議室が感染防止のため使用禁止になっていたため、屋外のグランドゴルフ場下のテーブルでミーティングの後、公園内を一巡して昆虫を中心とした自然観察をしました。

この時期は、本来ならチョウやトンボなどが公園内を多数飛び回っているはずですが、わずかな個体数しか姿を見せませんでした。

また、今後の里山整備をどのように進めていくかについても、参加メンバーで検討・相談しながら公園を巡り、12時過ぎに観察を終えました。

この日は会議室が使用できないこと、気温と湿度がかなり高くなってきたため、午後の里山整備作業は中止として活動を終了し、帰路に就きました。

- 8月は夏休みで活動を休止するため、次回の活動は9月4日(土)の予定です。まだ残暑の厳しい時期と思いますが、秋の気配も感じられるかもしれません。たくさんの皆様のご参加をお待ちします。

屋外のベンチに集まった参加者



自然観察の様子－1



自然観察の様子－2



# 今日の自然観察日記(その1)

今日の自然観察では、姿を見せた昆虫の個体数は多くありませんでしたが、それでもチョウやトンボ、コウチュウのなかまが色々確認できました。

特に、やや珍しいイシガケチョウがイヌビワの木の葉に止まっているのを確認しました。スマレの葉に産卵しているツマグロヒョウモンやカタバミの葉に産卵するヤマトシジミの様子も観察できました。

コウチュウではカミキリムシが色々な種類を確認できました。また、10匹以上のヤマトタムシがエノキの梢の上を飛び回っているのが見られました。

今日の観察で撮影できた昆虫の写真を以下に紹介します。

イヌビワの葉の裏のイシガケチョウ



ヒメウラナミジャノメ

スマレに産卵するツマグロヒョウモン



アオスジアゲハ

カタバミに産卵するヤマトシジミ



オオシオカラトンボ(♂)



キマダラミヤマカミキリ



ナガゴマフカミキリ



キボシカミキリ



クワカミキリ



クリアナアキゾウムシ



# 今日の自然観察日記(その2)

セマダラコガネ



マメコガネ



コガネムシ



カナブン



ヤマトタマムシ



キマワリ



カマキリのなかまの幼虫



クチナシの葉を食べるオオスカシバの幼虫



植物は、この時期は花が咲いているものが少ないのですが、スズランに似た白く小さなシャシャンボの花が咲いていました。秋に、ブルーベリーに似た果実になるのが楽しみです。エゴノキの枝には白く丸い玉のような実がたくさんぶら下がっていました。

シャシャンボの花



エゴノキの実



## 今日の自然観察日記(その3)

野鳥は、常連のキジバトやムクドリ、ハクセキレイ、スズメが姿を見せました。ハクセキレイは餌の虫を捕らえて食べていました。スズメはまだくちばしの一部が黄色く、幼鳥でした。そのほかの生き物では、小さいトノサマガエルを観察できました。

イロハモミジの若葉の中のキジバト



ムクドリ



虫を捕らえて食べるハクセキレイ



スズメの幼鳥



トノサマガエル

